

第 149 回技術士包装物流会関西支部 研究会議事録

令和元年 12 月 13 日
関西支部長 高垣俊壽
作 成 真野仁孝

開催日時：令和元年 12 月 10 日（火）

《研究会》18：00～19：20 《忘年会》19：30～21：00

開催場所：パナソニック松心会館

《研究会》2F 研修室 《忘年会》1F 大広間

出席者：合計 36 名

◆研究会

高垣支部長より、今年度の振り返り及び来年度の活動方針をお話された後、新会員の藤本様が紹介された。

I 講演会：

演題：「物流部門における品質管理の取り組み」

講師：野々山技術士事務所 野々山和行様

1. 自己紹介

大学卒業後、名古屋港、船舶代理店・港湾会社等を経て、現在、SEI ロジネット(株)様に勤務され、アメリカなどの海外勤務もご経験されている。また、技術士試験のアドバイスも行っており、合格者数名の実績あり。

2. SEI ロジネット様の概要

当社は住友電工(株)のグループ会社で、関係会社の国内外の物流業務、国内の物流センターの運営等を行っている。同グループ会社である、住友電装(株)様が製造販売されている、「ワイヤーハーネス」(複数の電線を束にして集合部品としたもの)の取り扱いが多く、車製造メーカーや電機メーカー等に納入している。同社では、トラック輸送の特徴として、ドライバーが商品を目的地まで運送し指定場所に納品する、「軒下(軒先)渡し」が多い。また、決められたルートに従って発荷主を回って集荷を行う「ミルクラン(巡回集荷)方式」を自動車メーカーのN社等にて行っている。

3. 物流品質とは

物流部門における品質は、「正しい製品を」、「所定の場所へ」、「適切な時間に」、「適切な状態で」、「適切なコストで」の「五適」(Five Rights)で表される。また、物流異常には、「荷崩れ」「部品破損」「製品破損」「転倒・落下」等があり、当社では発生比率としては「転倒・落下」が多いが、現在の発生件数は減少傾向にある。

4. 物流品質活動事例

物流品質向上活動として、毎年6月から8月までの「物流品質月間」での活動、11月実施の「フォークリフト運転技能大会」への積極参加、及び1年を通し「過去トラブルの繰り返し教育」などを行っている。

当社では、このような年間の活動を通して、品質改善のPDCAサイクルを回している。

5. 事故改善事例

フォークリフト事故対策事例として、リフト用ドライブレコーダーの導入の事例を挙げられた。これは主に、危険予知や教育訓練の場で活用し、作業者の意識付け対策として活用している。

6. まとめ

当社の物流品質向上活動は、人に関わる活動と捉え、人材育成による「人財」確保を目的としている。

II 忘年会：同日 19：30～21：00 出席者 36 名 松心会館 1F 大広間

宮木様の乾杯の音頭で開催し、小林様の一本締めで今年1年を締めくくり、盛会裏に閉会した。

◆第5回関西支部：包装・物流技術士による「技術士受験説明会」：令和2年2月5日（水）に開催。

基調講演：平田達也氏 パネラー：賀川義夫氏、美馬恒治氏、板垣大介氏

聴講風景及び忘年会風景



講演される野々山様



入会される藤本様



聴講風景



乾杯の宮木様



忘年会参加者全員



締め小林様